

第八次長野市高齢者福祉計画・第七期長野市介護保険事業計画 指標目標一覧と進捗状況

章 節	統 ア	指標名	指標の内容	指標設定の意義(意味)	実績値					目標値	単位	目標値の設定根拠
					H27	H28	H29	H30	R1	R2		
■1-1 社会参加と生きがいづくりの推進												
	統	社会参加している60歳以上の市民の割合	「就労(仕事に就き、その対価を得ている)」「ボランティア」「興味関心のある活動」等、社会と関わる活動をしている60歳以上の市民の割合	高齢者の社会参加の状況を表す	—	79.5	83.5	81.9	82.2	83.0	%	国の「高齢者の地域社会への参加に関する意識調査」結果を踏まえて設定
■1-2 健康づくりの推進												
	統	健康寿命(年)	介護保険の要介護認定者数等を用いて算定した、日常生活動作が自立している期間の平均	市民一人ひとりが健康の大切さを認識し、健康づくりに取り組んでいる状況を表す	男80.81 女84.97	男80.86 女84.65	男80.97 女85.16	算定中	算定中	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	年	国の健康日本21(第二次)を踏まえて設定
	統	人間ドック受診率	後期高齢者医療制度加入被保険者が人間ドック・脳ドックを受診した人の割合	後期高齢者が病気の早期発見や健康保持のため受診した状況を表す	4.0	4.5	4.8	5.0	5.3	5.8	%	平成22年度～27年度の増加傾向を参考に設定
■1-3 介護予防の充実												
	統	要介護状態ではない高齢者の割合	高齢者(65歳以上)のうち、要介護認定(要介護1～5)を受けていない人の割合	高齢者に対する介護予防の効果を表す	86.7	86.6	86.6	86.9	算定中	86.6以上	%	平成22年度～27年度の微減傾向を参考に設定
■2-1 福祉サービスの充実												
	統	緊急通報システム設置数	65歳以上のひとり暮らしの高齢者及び75歳以上の高齢者のみ世帯の緊急時における通報手段として緊急通報装置本体及び火災報知器、安否確認用センサーの設置数 ひとり暮らし高齢者の不安の軽減および安全の確保を図るもの	ひとり暮らし高齢者の不安の軽減及び安全の確保を図るサービスの支援状況を表す	1,135	1,112	1,105	1,084	1,010	1,251	件	ひとり暮らし高齢者数の増加率から設定
■2-2 高齢者を地域全体で支えるための体制整備												
	統	多職種連携によるケア体制の構築するための会議の回数	関係職員が相互に協力し、高齢者が適切な支援が受けられるよう調整するためケア会議を設置している回数	個別ケア会議から地域課題のネットワーク、市全体の課題解決につながる効果を表す	—	ネットワーク会議15回 市会議0回	ネットワーク会議16回 市会議0回	ネットワーク会議14回 市会議0回	ネットワーク会議21回 市会議0回	ネットワーク会議30回 市会議2回	回	ネットワーク会議は20か所の地域包括支援センターで1.5回ずつと想定
	統	地域での支え合いを推進する協議体の数	生活支援体制整備事業の「検討会」の設置数	多様な生活支援等の活動推進の状況を表す	—	—	17	20	算定中	32	団体	全地区での推進を目標として設定
	ア	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境の整備状況	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っている割合	高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられる環境が整っているかについての市民の捉え方	38.1	49.0	42.4	38.5	37.6	57.0	%	H28年度の伸びが急激であり、特異点である可能性があるため、27年度までの数字の推移から現実的と考えられる数値を見込み設定
■2-3 住みよいまちづくりの推進												
	統	道路施設における歩行空間の整備	歩車道の段差解消箇所数(注) 注:段差解消数とは、交差点における段差解消が必要な全ての歩道巻き込み部を解消した場合や横断歩道が接続する歩道と車道の全てが段差解消した場合を1箇所とする		331.0	344	356	370	算定中	355	箇所	年間平均5箇所の増加を見込み設定
	統	高齢者の交通事故件数(年)	高齢者(65歳以上)の交通事故件数	高齢者の交通安全意識やマナーの高さと交通事故のない安全な生活状況を表す	580	537	502	481	算定中	375以下	件	年間交通事故件数の目標値(1,250件以下)のうち、推計高齢化率(30%)を乗じた件数を設定
■2-4 認知症になっても自分らしく暮らせる支援												
	統	認知症サポーター数	認知症サポーター養成講座を受講し、地域の中で認知症の人や家族を温かく見守る認知症サポーターの数	認知症になっても安心して暮らせる地域での見守り・支援体制状況を表す	23,167	26,935	30,725	34,493	38,283	39,000	人	年間平均3,000人の受講者を見込み設定
■2-5 高齢者の権利擁護の推進												
	統	成年後見制度の相談件数	認知症等で判断能力が不十分な65歳以上の高齢者の財産管理及び身上監護等を目的とした成年後見制度についての成年後見支援センターにおける相談件数	成年後見制度の周知状況を表す	778	882	603	835	667	1,300	件	平成27年度と平成28年度の増加数から毎年100人程度の相談者の増加を見込み設定 (※)25年度の実績値には、長野市社会福祉協議会が実施した法人後見の相談件数も含む
■2-6 相談・支援体制の充実・強化												
	統	ケアマネジャーへの支援	市民からの相談に対応するため包括職員・ケアマネジャーの研修受講の参加延べ人数	市民からの相談に適切に対応するための関係職員の資質向上	1,370	2,022	2,060	1,536	1,558	2,500	人	市内ケアマネジャー500×5回/人
	ア	地域包括支援センターの認知度	地域包括支援センターについて「よく知っている」及び「ある程度知っている」者の割合	身近な相談窓口である地域包括支援センターの認知度を表す	—	—	29.9	—	—	35.0	%	平成25年度と29年度の上昇率から現実的な数値を設定
■3-1 安心して介護サービスが受けられるための環境づくりの推進												
	統	介護サービス事業所における従業者数の充足度	従業者数が充足している事業所の割合	介護サービス事業所において必要な人材が確保できているかどうかを表す	—	—	43.3	—	—	50.0以上	%	労働者人口が減少し多くの産業において人材不足が発生している中で人材確保対策の効果が十分に見込めるまでには長期的な対策が必要なため、当面の目標として全体の半数と設定した

統:統計指標(統計による指数) ア:アンケート指標(市民が思う割合)